



昭和大学歯学部だより

2022年 4・5月号

通算第216号

巻頭言

＜歯学部長 榎 宏太郎＞



4月より歯学部長に再任されました。微力ではございますが、覚悟を決めてこの一年に臨む所存です。まだまだ本歯学部には、いくつかの課題が残されております。1) コロナ禍においても学生教育の質と量を維持し、孤独感を深める学生生活へどのような具体的な支援を行うか。2) 基礎・臨床研究のより一層の活性化と先進性をどのように獲得すべきか。3) 他大にはない新しい臨床の展開と卒業専門教育をどのように充実させるべきか。4) 社会に対して、どのように歯科医学の重要性を伝え、本学独自の成長戦略を立てるか、等々。これらの解決には、歯学部が一丸となることと共に斬新な発想力を生み出す必要があります。そして、本歯学部は、講座の指導的立場におられる先生のみならず、研修医から学部学生に至るまで、十分にその力のある方ばかりが集っております。夢を持って頑張りましょう。本年度も、何卒、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

歯学部学生部長就任のご挨拶

＜歯学部学生部長 野中 直子＞



本年4月1日付けで歯学部学生部長を拝命いたしました野中でございます。この2年間はコロナ禍で、学生生活は大きく変わりました。学生部長としては、まずは学生の皆さんが安全・安心して学業に専念し、クラブ活動はじめ課外活動も含め充実した学生生活を送ることができるようにと考えております。昭和大学の建学の精神である「至誠一貫」のもと、学修面だけでなく生活面や歯科医師となるにふさわしい人間形成についてもサポートをするために、学生との対話を積極的に行いたいと考えております。学生課はじめ、医学部・薬学部・保健医療学部・富士吉田教育部の各学部の学生部長と連携をとり、この重責を果たしていく所存でございます。将来、ひとりの医療人としてまたチーム医療で活躍できる医療人になるよう、学生の成長を見守りまたお手伝いをしていきたいと思っております。教員・職員の皆様にも、学生教育・学生指導にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- P.1 【巻頭言】歯学部長 榎 宏太郎教授
【歯学部学生部長就任のご挨拶】歯学部学生部長 野中 直子教授
- P.2 【教育委員長就任のご挨拶】教育委員長 船津 敬弘教授
【令和3年度の文化功労者顕彰に須田立雄名誉教授が選出されました】上條 竜太郎教授
- P.3 【令和4年度の入学式ならびに入寮式/Identity教育が執り行われました】歯学部長 榎 宏太郎教授
【大学院入学式が挙行されました】歯学研究科長 高見 正道教授
【令和4年度白衣授与式が開催されました】教育委員長 船津 敬弘教授
- P.4 【歯科用インプラント及び表面処理方法の発明において特許を取得しました】歯科補綴学講座 岩佐 文則准教授
【学生実習風景】口腔解剖学講座 野中 直子教授
【研究紹介】口腔生化学講座 山田 篤准教授
【今後の予定】【編集後記】口腔生化学講座 宇山 理紗

教育委員長就任のご挨拶

<教育委員長 船津 敬弘>



この4月より歯学部のエデュケーション委員長を拝命いたしました小児歯科の船津です。歯科医師国家試験が年々難化する中、私立歯科大学の予備校化などの声も囁かれており、大学という高等教育機関での教育の在り方を再考していく状況であると考えております。学生たちに歯学の面白さ、興味深さ、そして将来への希望を授けていくのが我々教員の努めであり、そういったものを学生に提供できれば、学生は能動的学修を身に付け、アクティブラーニングにより学習サイクルは好転し、素晴らしい歯科医師の素地形成に役立つと考えています。幸いにも歯学部の教員は熱心な先生方が非常に多く、最近の歯科医師国家試験でも、本学の学生は良い結果を出してくれております。自分自身は非常に微力ではありますが、優秀な歯学部教員の先生方のお力をお借りしながら、昭和大学歯学部を学生にとってさらに魅力あるものにしていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和3年度の文化功労者顕彰に須田立雄名誉教授が選出されました

<口腔生化学講座 上條 竜太郎>



須田名誉教授は、基礎歯学・生化学の分野において、我が国の骨代謝研究を黎明期から支え、骨代謝研究を対象に、生体のカルシウム代謝を調節する最も基本的な因子である『ビタミンD』に着目して研究を進め、強力な生理作用を持つビタミンD代謝産物である活性型ビタミンD(1 α , 25-ジヒドロキシビタミンD₃)の単離と同定に成功しました。次いで、ビタミンDの代謝調節、作用の仕組み、その臨床応用に取り組み、強力な生理作用を持つ活性型ビタミンDを構造決定し、合成誘導体を考案しました。この活性型ビタミンDの合同誘導体は、骨粗鬆症患者の基本的な治療薬となっています。また、破骨細胞誘導因子 ODF/RANKL を発見し破骨細胞形成の分子メカニズムを解明するなどの顕著な業績を上げ、斯学の発展に多大な貢献をした業績が評価され、このたびの選出となりました。

なお、研究業績である活性型ビタミンDの合成誘導体(アルファカルシドール、商品名 アルファロール)の創薬(1981)、宇宙飛行士 毛利衛さんで行った宇宙実験(1992)、破骨細胞誘導因子(ODF/RANKL)の分子クローニング(1998)は全て、23年間の昭和大学在任中に行った実験成果です。

《須田名誉教授からのコメント》

今回の私の文化功労者選定がこれから医学・歯学・薬学・保健医療学の道を目指す若人の励みになればこれに勝る幸せはございません。



令和4年度の入学式ならびに入寮式／Identity教育が執り行われました

<歯学部長 榎 宏太郎>

令和4年4月11日に、富士吉田キャンパスにおいて、昭和大学入学式ならびに入寮式／アイデンティティ教育が行われました。今年、医学部128名、歯学部96名、薬学部200名、保健医療学部161名の新生を迎えております。当日の富士吉田は、朝はやや肌寒いものの快晴に恵まれ、午前9時半、スクエアガーデンに全新生が集合し、厳かな雰囲気の中、入学式が開始されました。久光学長の告示と小口理事長から御祝辞を頂き、昭和大学に入学できたことを皆さんが改めて実感されたことと思います。コロナ感染から隔離された素晴らしい環境で、新生の皆さんが存分にスポーツを楽しみ、新しい学問に触れて、多くの友人を作り、自らの明るい未来へ向けた第一歩とされることを心より祈念致します。



大学院入学式が挙行されました

<歯学研究科長 高見 正道>



令和4年4月2日午前10時より、昭和大学大学院入学式が上條記念館において挙行され、医学研究科38名、歯学研究科26名、薬学研究科19名、保健医療学研究科22名が入学しました。

久光学長は、大学院での自己研鑽の大切さについて述べられ、小口理事長は、大学院での困難を乗り越えるよう激励されました。研究科長の挨拶で私は、『大学院とは研究者を育成する場であるが、私自身はリーダーを育成するつもりで大学

院生に接している。リーダーとは、社会が災害や紛争など困難に陥った時に適切な方向に人々を導く人のことで、学祖の上條秀介先生も関東大震災の惨状を見て昭和大学の前身を設立された。』と述べました。式の後、上條ミュージアムを見学し、オリエンテーションでは、弘中大学院運営委員長が心構えなどについて話されました。

歯学研究科長に再任した私も、高い志を抱く入学者の皆さんを見て、全力で支援していきたいと気持ちを新たにしました。



令和4年度白衣授与式が開催されました

<教育委員長 船津 敬弘>



4月25日に上條記念館において5年生への白衣授与式が執り行われました。岡野有里さんが学生を代表して榎歯学部長より白衣を授与され、その後全員が白衣を着用して式が進められました。

久光学長からの祝辞では、「虫の目、鳥の目、魚の目」という言葉が紹介されました。「虫の目は近づいて様々な角度から見る、鳥の目は高い位置から物事を全体的に見る、魚の目は物事の流れを見る」という意味で、多角的視点を持って臨床実習に臨んでほしいとのお話があり、学生たちは臨床実習への気持ちを新たにしているようでした。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大前と同様の、フルタイムでの臨床実習が予定されております。学生諸君はしっかりと心構えで、是非実りある一年を過ごしていただきたいと存じます。

「歯科用インプラント及び表面処理方法」の発明において 特許を取得しました

< 歯科補綴学講座 岩佐 文則 >

2021年11月3日(水・祝)～5日(金)にパシフィコ横浜+WEB のハイブリッド口腔インプラントの分野でセリア安定化ジルコニア/アルミナ・ナノ複合体(Ce-TZP/Al₂O₃)インプラントに関して出願しておりました特許を取得致しました。チタン系材料に代わる新たなインプラント材料として独自の製品開発を目指し、長年その研究に注力しておりましたが、歯槽骨及び歯肉等の生体組織に対する親和性、審美性に優れ、かつインプラント周囲炎等の予防効果も期待できるジルコニアインプラント体の新たな表面処理方法を提供することができました。今後とも学術研鑽に努め、口腔機能の維持・回復に取り組んで参ります。あらためて多くの関係者の皆様にこの場をお借りして謝意を表したいと思います。



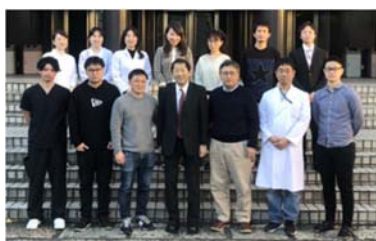
学生実習風景

< 口腔解剖学講座 野中 直子 >

口腔解剖学講座が担当する実習は、2年次の解剖実習と組織実習になります。コロナ禍で実習の形態も変わり、現在は密を避けるために約100名の学生を2グループに分け、解剖実習と組織実習を入れ替え方式で行っています。人体の正常な構造・機能を理解することを基本に、将来の医療人としての倫理観や死生観を学ぶ貴重な機会となります。特に解剖実習は、ご献体くださる方々のご厚意によって成り立っています。学生は毎回事前学修と復習をして解剖実習に臨んでいますが、教科書からでは学ぶことができない多くの変異の発見もあり、4～5名でディスカッションをしながら知識の共有をし、医療人となるために真摯に実習に取り組んでいます。

～研究紹介～(口腔生化学講座)

< 口腔生化学講座 山田 篤 >



口腔生化学講座は、開講以来一貫してカルシウム代謝と骨代謝をメインテーマに、学内外との共同研究を展開しながら研究を進めてきました。現在、上條以下6名の教員が医学部・歯学部の臨床系講座の大学院生8名、マルチドクタープログラムの学生2名とともに、骨形成因子の効果増強による骨形成促進法および神経堤細胞を用いた硬組織再生法の開発、関節軟骨の恒常性維持と破綻の分子生物学、細胞膜トランスポーターによる細胞分化調節機構、タンパク質分解による骨代謝制御機構、酸素分圧やpHなどの細胞周囲環境による骨軟骨代謝制御機構、反応性分子種による骨軟骨代謝制御機構の解明など、新しい視点から骨軟骨代謝の解明に取り組んでいます。

行事予定

6月5日(日)学校法人昭和大学学祖祭
6月11日(土)父兄会総会(書面開催)
6月25日(土)昭和大学学士会例会

編集後記

< 口腔生化学講座 宇山 理紗 >

新型コロナウイルスによる行動制限が緩和され、日常を取り戻しつつあります。キャンパス内も活気が戻ってきました。お忙しい中、ご寄稿くださいました先生方に感謝申し上げます。

昭和大学 歯学部だより 通算216号 2022年5月発行

発行責任者：歯学部長 榎 宏太郎 編集責任者：広報委員会委員長 野中 直子

4・5月号編集委員：宇山 理紗(広報委員会)

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp>